

KYOWA RUBBER NEWS LETTER

拝啓 陽春の候、貴社ますます
ご繁栄のこととお慶び申し上げ
ます。共和ゴムの寺阪です。



代表取締役 寺阪 剛
Takeshi Terasaka

2006年からアクシスフォー
マーなど健康グッズなどコンシュ
ーマー向け製品の企画・製造・
販売を始め、色々と失敗もあり
ましたが、現在では売上の
10%程を占めており、お陰さ
まで一つの柱として確立できま
した。理学療法士、医学博士、
管理栄養士の先生方ともお知り
合いになることができ、本当に
感謝しております。6年程前から取り組んでいた糖尿病予
防、血糖値スパイク抑制のための超軟質ゴムバンド&エク
ササイズの研究がいよいよ完成しそうです。同志社大学生
命医科学部と産学連携で進めており、今年3月にやっと臨床
実験が終了しました。まだ臨床実験結果は現在解析中で、
まだ結果は出ておりませんが、今まで6年間取り組んできた
実績もあるので、恐らく”素晴らしい良い結果“が出てくれ
ると信じております。

食後に超軟質ゴムバンドを使い、6～10分エクササイズす
る事で食後の血糖値急上昇（血糖値スパイク）を抑えるこ
とができるという製品となります。日本語版、英語版、中
国語版でエクササイズDVDを作成し、今年夏には発売した
いと思っております。このように「血糖値スパイク抑制」
だけに特化した、ある意味かなり尖った製品で、現時点で
は国内・国外を見渡しても商品化された競合品は存在して
おりません。日本国内に糖尿病患者は約300万人も居て、
糖尿病予備軍も含めると約1500～2000万人とも言われて
おります。合併症を引き起こしやすく万病の元とも言われ
る糖尿病を重病化させない、未病化するという事は、健
康増進にも繋がりますし、かつ年間42兆円を超えた国民医
療費削減にも貢献できると信じております。

完成しましたら当社ウェブショップにて販売を予定してお
りますので、是非ともお買い上げ頂ければ幸いです。



今後とも何卒宜しくお願い致します。

敬具



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA
RUBBER
NEWS
LETTER

共和ゴムニュースレター 第52号
2020年4月発行

ニュースレターのバックナンバーは
弊社ホームページでご覧いただけます。

共和ゴム株式会社

本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3
Tel. 072-855-1039 / Fax. 072-855-1090

東日本営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3日本橋HYビル4F
Tel. 03-5255-5133 / Fax. 03-6673-3505

栃木事業所

〒323-0057 栃木県小山市南小林439
TEL:090-3268-1039 FAX:028-333-1169



2020.4 52
Vol.

NEWS

01

ボルトナット防錆キャップが NETIS登録!

ボルトナット防錆キャップ「まもるくん」がNETIS
(国土交通省 新技術情報提供システム)に
登録されましたのでお知らせ致します。

新技術名称: ボルトナット防錆キャップ「まもるくん」
NETIS登録番号: **KK-190041-A**
詳細はNETIS公式ページよりご確認ください。

02

目地フォームの採用が広がっています!

(NETIS KK-180046-A)

当社製品『目地フォーム』が以下地域で新たに採用されました。

- ・青森県 当社営業担当: 寺阪
 - ・秋田県 当社営業担当: 寺阪
 - ・千葉県 当社営業担当: 寺阪
 - ・埼玉県 当社営業担当: 岡本
 - ・石川県 当社営業担当: 小合
 - ・愛知県 当社営業担当: 小合
 - ・岡山県 当社営業担当: 林
 - ・広島県 当社営業担当: 林
- 今後も全国に拡販して
いきます!
宜しくお願い致します。



- 既に採用
- 今回採用



営業部門

Sales Department

西日本営業部 小合 (おごう) 徹

去る 2 月 25 日 (火)、静岡県袋井市に補修作業中の橋梁を見学して
来ました。7m ほどの短い橋ですが、道路部分との境目に伸縮目
地材として『目地フォーム』、また欄干を固定するボルトナットへ
は『まもるくん』が使用できると思い、実際に M12 のまもるくん (シ
ングルナット用) を取り付けて来ました。その後、浜名湖に架かる
浜名湖大橋にも見学に行き、ここでは照明柱の根元を支えるボルト
ナットに M22 (高力ボルト用) をモニター施工して来ました。橋
梁をはじめとする各種インフラ設備に共和ゴムの製品が使われるこ
とを想像するだけで、自分の仕事は世の中の役に立っていると強く
感じる事が出来たので、貴重な経験となりました。

